

# 事業所全体による自己評価

## 1.<問題点>

活動プログラムにバリエーションがあるとよい。

### 解決策

活動プログラムを固定化しているメリットとして、毎回同じメニューを繰り返し行うことで、過去と比べて成長度合いが比較しやすく、成長が可視化できます。また、お子様によってはメニューの見通しが立ち、迷いなく安心して取り組むことができます。新メニューも追加されておりバリエーションは少しずつ増えています。

今後も通常メニューの他にエクストラメニューの追加、新メニュー追加の検討はしております。

## 2.<問題点>

感覚統合について詳しい先生がもっといるといい。

### 解決策

作業療法士の資格を持った職員は在籍しております。また、月に1~2回は顧問作業療法士の先生と感覚統合や、子どもとの関わり方等についての研修を行っております。その研修の内容が療育に活かせるよう日々研鑽を重ね、より良い療育が提供できるように全職員が努めて参ります。